



インスピレーションになろう



バリヤー・ラシン  
2018-19年度国際ロータリー会長

No.1 2

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

### 例会記録 (2018. 9. 28 (金)) 通算3,186回

#### ◆開会・点鐘

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆来訪ロータリアン (9月28日)

高砂青松RC 都倉達殊会員

◆歓迎歌「松の緑」



都倉達殊 会員

#### ◆プログラム予定

10月5日 (金)	10月12日 (金)	10月21日 (日)	10月26日 (金)
卓話「米山奨学について」 信原智彦 委員長	休会 (定款8条第1節(C)による)	移動例会 (19日分) 秋の家族移動例会 (京都)	卓話 「RYLAセミナーの報告」 聖パウロこども園 佐藤春奈氏

## ◆出席報告

本日9月28日 会員数42名 出席者 25名 出席率 59.52%  
前々回9月14日 会員数42名 修正出席者42名 出席率100.00%修正

## ◆MAKE-UP

後藤 純次会員 e-CLUB (9月28日)  
後藤 純次会員 e-CLUB (10月5日)  
加茂 良祐会員 e-CLUB (9月28日)  
加茂 良祐会員 e-CLUB (10月5日)  
滋野 敦士会員 e-CLUB 9月26日 (9月14日)  
滋野 敦士会員 e-CLUB 9月26日 (9月28日)  
谷川こずえ会員 地区大会 3月11日 (9月21日)  
池本 和正会員 e-CLUB 9月13日 (9月14日)  
池本 和正会員 e-CLUB 9月27日 (9月28日)



親睦・出席委員会  
池本和正 副委員長



親睦・出席委員会  
西田秀雄 委員長

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

坂井 智代会長……富沢会員、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。  
後藤 宗久幹事……都倉さん、ようこそいらっしやいました。  
森本 幸吉会員……富沢会員、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。



S.A.A.  
高木史郎 委員長

## ◆幹事報告（3,186回）

〈国際ロータリー第2680地区より〉

1. 「平成30年北海道胆振東部地震」ならびに「平成30年台風21号」被害支援への協力とお願いが届いております。

本日、義援金箱をまわしますのでよろしくお願います。

2. 2018年10月度のRIレートは、1ドル＝112円と本部より連絡がありました。

〈その他〉

1. 高砂市共同募金委員会より「赤い羽根共同募金」の協力依頼が届いております。次回の理事会報告事項にしたいと思えます。



後藤宗久 幹事

## ◆会長の時間

先日の高砂青松クラブとの合同例会は、皆さまのご協力を得て賑やかに終える事ができました。ありがとうございました。森本会員には綿密な講演会のご準備をいただき、講演会のお話も素晴らしくて楽しく拝聴できました。ただ、講演会を重視するあまり、会長・幹事の例会進行上での不行き届きが多くて、二人で後で反省しました。色々と考えながら、ふとロータリーの「四つのテスト」が頭に浮かびました。

今日は四つのテストについてお話します。四つのテストをいつも例会の開始とともに斉唱しますが、会員の中で、四つのテストをきちんと理解し、迷いなく唱えている方はどれだけいるのでしょうか。もしかしたら心の中で、真実ってなに？みんなに公平かどうかの判断は現実には難しいのではと密かに思っている人はいないでしょうか。

四つのテストは、1954年にはじめてロータリーで採用されて以降、世界中100カ国語に翻訳され活用されており、日本でも60年間以上のあいだ使われ続けています。その日本語訳や解釈についてはこれまで時折議論されています。もともとは商取引に関連して作られた言葉ですが、商取引に直接関係しない職業の人達や商取引以外の場でも使われる可能性が高いことを考慮すると、いまの和訳された言葉が「ロータリアンの日常生活のすべての言行に適用できる」と高く評価されています。

四つのテスト ～言行は以下のことに照らしてから～

- ・ 真実かどうか : 嘘偽りがないかどうか
- ・ みんなに公平か : 全ての取引先に対して公平かどうか
- ・ 好意と友情を深めるか : 信用を高め、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすか
- ・ みんなのためになるかどうか : 売り手買い手関係なく、すべての取引先が適正な利潤を得るか



坂井智代 会長

話を合同例会のことに戻すと、会の開催には様々な方の協力が必要でした。立場によって、真実（信念）が少し違うことがあり、会を準備する側と準備してもらう側、会に参加する側と参加してもらう側、講演する側と講演依頼をする側、など様々な立場が交錯します。四つのテストを照らして考えようとしたのですが、立場によって（真実の）見え方が少しずつちがうことに気づきます。そこで思ったのが、四つのテストに完全な答はないということ。四つのテストは質問形式になっています。「こうでなくてはいけない」とはなくて質問形式であることに意味があるようです。真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうかというようなことを意識する！ことが大事なのです。四つのテストはロータリークラブの会員が、「日常の言行の評価のために使用する」ことを推奨するものです。これからも大切に唱えたいと思います。

## ◆本日のプログラム

### 卓話 「自己紹介」

電源開発株式会社 高砂火力発電所 所長  
富沢 康雄 会員



プログラム委員会 鎌谷雅彦 副委員長



富沢康雄 会員



### 1. 生い立ち

- ▶ 地元 津南中学校【バスケットボール】
- ▶ 電発工業高等学園【野球】
  - ・神奈川県茅ヶ崎市、企業内学校
  - ・寮生活

【科学技術学園高等学校 卒業】

- ・東京都世田谷成城
- ・企業内学校と連携し高校卒業資格付与

### 2. 社会人生活

電源開発(株) 入社(1980年4月、昭和55年4月)

- ▶ 兵庫県高砂市(高砂火力発電所 26年間)
  - ・発電課(3交替勤務、発電所運転 8年)
  - ・保修課(電気担当 9年半)
  - ・発電グループ(3交替勤務、運転長 3年半)
  - ・発電グループ(日勤、海外炭燃焼試験担当 2年)
  - ・企画・管理グループ(法定検査担当 3年)
- ▶ スポーツ⇒ラグビー、野球、ゴルフ

### 2. 社会人生活

その後の勤務地

- ▶ 東京都(本社)
  - ・火力発電部 兼 経営企画部 ……6年半
- ▶ 広島県(竹原火力発電所)
  - ・発電グループリーダー…2年4ヶ月
- ▶ 東京都(本社)
  - ・火力発電部
  - 保守技術室長…1年2ヶ月
  - 発電室長 兼 経営企画部審議役…2年
- ▶ 高砂火力発電所(所長、現職)

### 家族紹介

### 3. J-POWERについて

営業運転中の発電設備出力(持分出力ベース)

73% 1,765万kW

27% 668万kW

J-POWERグループ国内外発電資産の燃料種別構成

再生可能エネルギー(水力・風力)	39%
石炭	38%
天然ガス	23%



会長 坂井 智代                      幹事 後藤 宗久                      雑誌会報委員長 豊田 克義  
 例会日時 毎週金曜日12時30分より  
 例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
 高砂ロータリークラブのホームページのURL [http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)